（ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ）作 業 手 順 書　車線分離標取替作業

会社名	中日本ﾊｲｳｪｲﾒﾝﾃ名古屋㈱	施工ｹｰｽ	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年11月1日		トラック	ドライバー、モンキー	ヘルメット、耐切創手袋、安全靴、安全ﾁｮｯｷ、保護眼鏡	車線分離標
改訂日				ポストコーン専用工具		
作成者	奥宮			ハンマードリル		

必要資格等	運転免許（旧普通・中型）、職長教育講習	作業人員	3～5 名	その他	廃材：車線分離標（廃プラ）
		保安人員	1～2 名		

可能性	1：ほとんど起きない（5年に1回程度）	2：たまに起きる（1年に1回程度）	3：かなり起きる（6ヶ月に1回程度）	×	重大性	軽微（不休災害）	重大（休業災害）	極めて重大（死亡・障害）	=	評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	頻度率：1	頻度率：2	頻度率：3			危険度：1	危険度：2	危険度：3			1～2	3～4	5～9

作業工程	施工ｹｰｽ	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	評価 可能性	評価 重大性	評価 評価	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後 評価 可能性	対策後 評価 重大性	対策後 評価 評価	参考図（別紙も可）
準備作業			**・作業前ミーティング**										
	共通	1	新規入場者のﾁｪｯｸをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講	職長	1	2	2	元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業環境に即した物とすること。
	共通	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	2	体調の確認、ｱﾙｺｰﾙﾁｪｯｸを行う。	職長	1	1	1	
	共通	3	服装、保安用具の点検をする。	自発光ﾁｮｯｷの球切れがある。からまんで一の音が鳴らない。	2	2	4	規制員に、事前点検を実施させる。	全員	1	2	2	
	共通	4	機械・規制材等の準備、点検をする。	協議書に基づいた規制材でない。車両の不具合。	2	1	2	担当者との協議書を元とする事前打合せをする。	全員	1	1	1	
			（痛んだ規制材は使わない、点灯確認）	規制時に視認性が悪い。	2	2	4	事前点検を確実に実施する。	全員	1	2	2	
	共通	5	朝礼、KYﾐｰﾃｨﾝｸﾞを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYﾐｰﾃｨﾝｸﾞにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2	
	共通	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす。	3	1	3	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	2	1	2	
					3	1	3	緊急時の合図、連絡方法を確認しておくこと。	全員	2	1	2	
	共通	7	車両点検、荷姿、ﾌﾟﾚｰﾄﾁｪｯｸをする。	積荷等が落下する。	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2	
				資機材、規制材の落下。	2	3	6	ラバコンなどをアオリより出さない。ロープによる養生。	全員	1	2	2	
				業務用プレートの不正使用。	2	1	2	プレートチェックを自主とメンテ職員にて行う。	職長	1	1	1	
移動			**・現場への移動**										
	共通	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。携帯電話使用。シートベルト。あおり運転。	2	3	6	nexcoの一員であることを自覚して運転する。ドライブレコーダーの正常に動くか確認する。	運転手	1	2	2	
	共通	2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	プレート区域外使用。	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。（自主、メンテ職員）	運転手	1	1	1	
	共通	3	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2	運転席には、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止め	運転手・助手	1	2	2	
			輪止めを必ずする。										
本作業													
	共通	1	職長は、安全管理に心がける。	作業員の不安全行動。	3	1	3	職長は作業より、安全管理仕上げ具合に留意する。	職長	2	1	2	
	共通	2	移動式ｸﾚｰﾝによる材料・機械の荷卸。	アウトリガーの張出不足・地切り不足による転倒。	2	3	6	技能講習受講者が、設置後アウトリガーをすべて確認する。	技能講習受講者	1	2	2	
				玉掛の不具合（重心ﾐｽ、1点吊）により材料を高所から落下。	2	3	6	技能講習受講者が、玉掛状態（重心、2点吊）を確認する。	技能講習受講者	1	2	2	
			・車線分離標撤去（一体型）										
	共通	3-1	ポストコーンを外す（反時計回りに回す）	無理に外そうとして体制を崩し転倒しケガをする	2	2	4	滑り止め手袋を着用し、硬い場合は専用のハンドルを使用する。	作業者	2	1	2	
			・車線分離標撤去（ポール交換式）										
	共通	3-1	台座側面の固定ネジをドライバーで緩めて、固定ピンを外す。	誤って、ドライバーで手を突き刺す	2	2	4	手元を良く確認して作業をする。	作業者	2	1	2	
	共通	3-2	本体ユニットを回転させて、台座からポールを引き抜く。	無理に外そうとして体制を崩し転倒しケガをする	2	2	4	滑り止め手袋を着用し、安定した体制で作業する。	作業者	2	1	2	
	共通	3-3	台座固定のボルトをモンキー等で緩めて、台座を取り外す。	舗装面と工具で手を挟みケガをする	2	2	4	保護手袋を着用し、力をかける際は安定した姿勢で作業をする。	作業者	2	1	2	
			車線分離標設置										
	共通	4	ポストコーンを設置する（時計回りに回す	無理に設置しようとして体制を崩し転倒しケガをする	2	2	4	滑り止め手袋を着用し、安定した体制で作業する。	作業者	1	2	2	
後片付け			**発生材積込**										
	共通	1	廃材の積込。	乱暴に積み込んで足に落下させケガをする	2	2	4	1回に積み込む量ははつりガラ等は土嚢袋にてまとめ1袋ずつ丁寧に積み込む。	全員	2	1	2	
								安全靴の着用。	全員	2	1	2	
	共通	2	資機材の積込	発電機等重量物を積み込む際足に落下させケガをする	2	3	6	積み込む際は2名で行い滑り止め付きの手袋を着用する	全員	2	1	2	
								安全靴の着用。	全員	2	1	2	
移動	上部記載												
離脱			**・作業後ミーティング**										
	共通	1	報告業務	作業の進捗、施工完了場所、次回作業の報告忘れ	3	3	9	進捗、作業状況、次回作業場所の確認を全員に周知する。					
				現場の問題点、業務に支障がでる報告忘れ	3	3	9	問題点、注意点は全員に共有する。					
	共通	2	機械・規制材等の故障報告をする。	機械・規制材の故障によって次回作業ができない。	3	3	9	故障や破損は当日に報告し交換等が必要なら交換しておく。					
共通事項			**(1) 作業箇所の監視員の注意喚起等による安全対策の徹底！**										
			○1人作業は禁止										
			○監視員を必ず配置する。										
			・緊急時の合図や避難場所も確認										
			(2) 当日の作業内容の確認の徹底										
			○KY時に当日の作業内容、使用工具等の確認を行う										
			○予定外作業が発生した場合は総合職担当者に報告のうえ状況によっては作業中止、作業を行う場合は作業前に現地KYを実施したうえで行う										

〈一体式〉



〈ポール交換式〉







